



# 国際化の最前線から



## グローバル環流型人財育成のすゝめ

(一社)グローバル人財サポート浜松 堀 永乃

2024年2月22日、フィリピン・ミンダナオ州ダバオ市にあるキャプテントーマスモンテベルテセントラル小学校で、鍵盤ハーモニカ寄贈式がにぎやかに開催されました。寄贈式典では小学3年生から5年生の児童が管楽器と鍵盤ハーモニカで「ドレミの歌」を披露しました。さらに3月17日のダバオ市政記念日パレードでは同小学校のマーチングバンドが演奏してくれたそうです。



ダバオ市教育省による寄贈式典

当法人は、次世代育成事業の一つとして2018年から学生団体HANDS(ハンズ)の国際音楽交流活動を支援しています。この活動は、浜松市民から中古鍵盤ハーモニカを集め、清掃し、ダバオ市の公立小学校などへ寄贈し、楽器演奏の指導や日本文化紹介を通じてフィリピン人の児童との交流を深めるというものです。一時期コロナ禍の影響でフィリピンへの渡航自体が叶いませんでしたが、彼らはオンラインでの交流を深めるなどして活動を続けてきました。昨年度は市内外から鍵盤ハーモニカ1,200台が集まりました。しかし、この台数はさすがに学生たちの手持ち荷物での運搬が困難であったため、浜松ロータリークラブに協力いただき、船舶での海外輸送が可能となりました。さらに、当法人はダバオ市教育省と協定書を締結し、7つの公立小学校への寄贈と大学生の活動が円滑に進められるように要請しました。



学生たちによる鍵盤ハーモニカ演奏指導の様子

今回の活動を通じて学生たちはフィリピン人のおもてなしの素晴らしさや「一歩踏み出す勇気と力が必要であること」を学び、「言葉を超えた友好関係を築きたい」と言います。彼らは大学では学び得ない経験で随分成長しました。なんと今年から大学を休学し、ダバオ市でのインターンシップを決意した学生が2人もいます。



ダバオ市政記念式典でのパレードの様子

両国の、市民の善意、行政や企業の協力、学生活動の推進、そして次世代同士の交流が深められたという一連の活動は、まさに地方都市同士のグローバル環流型人財育成プロジェクトです。今後の日本における人口減少と労働力不足に歯止めをかけるためにも、私は両都市の必然的な教育に対する支援活動により双方向の人々の偶発的な出会いや就労意欲へと発展する仕組みの構築が必要だと考えます。そして、私たちの草の根の交流とライフステージ毎の教育支援が世界がー帯となった共生社会づくりへと醸成されていくものだと思っています。

### プロフィール

堀 永乃 (ほり ひさの)

(公財)浜松国際交流協会プロパー職員時代にリーマンショックでの外国人労働者の現実を憂い在住外国人の就労支援に取り組み、2011年にグローバル人財サポート浜松を立ち上げ、現職。現在、フィリピンの大学と業務締結し特定技能外国人材の教育や就労・採用支援、外国人の介護職員初任者研修や企業内日本語教育、大学生を対象に次世代育成を行う。このほか全国の市町村などで研修や講演多数。日本大学国際関係学部非常勤講師も務める。